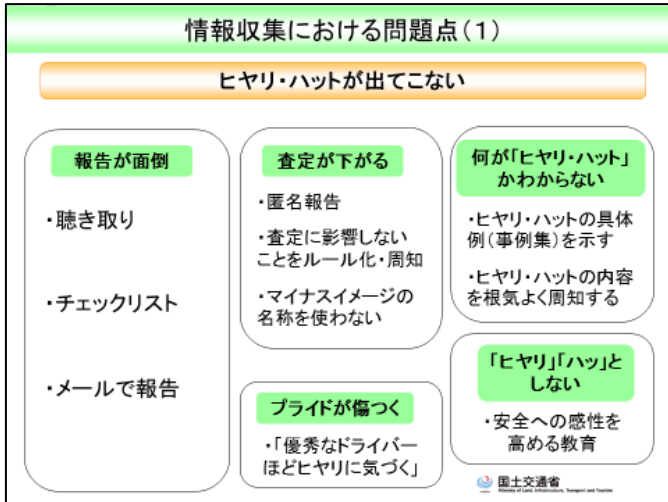


ヒヤリ・ハットを集めるために ～情報の収集にひと工夫を～



ヒヤリ・ハット情報を集めると言っても、なかなか簡単に集まるものではありません。

まず、左の図にあるとおり、**報告が出てこない理由**として、「**報告が面倒**」という声をよく耳にします。

一日の業務の中でヒヤリ・ハットを覚えておいたり、メモを取っておくのも面倒くさい。また、字を書くのが苦手な人もいます。その対策としては、作文作業をなくし、対象物・原因・事故に発展した場合の被害状況、についてもチェックですむようリストを使用する方法があります。それでも面倒だという場合は、始業・終業時等に担当者が聞き取りを実施し、より詳しく具体的に収集する事も出来ます。

「**査定が下がる**」と思われることも1つの理由です。ヒヤリ・ハットは自分のミスだから、報告する事によって給料が下がるのではないかと考え、報告をあげない方もおられます。その時は匿名での報告にしたり、査定に影響しないことをルール化して周知したり、ヒヤリ・ハットという名称を、例えば、「安全報告」「事故の芽報告」などに変更し、イメージを変えることにより効果が出るかもしれません。

「**プライドが傷つく**」という方は、「あなたは優秀だから事故にならず、ヒヤリで済んでいるのですよ。」とか、「ベテラン(無事故の人)ほどよく気が付くもので、後輩達への伝承、会社のために」というふうな催促のしかたも良いでしょう。

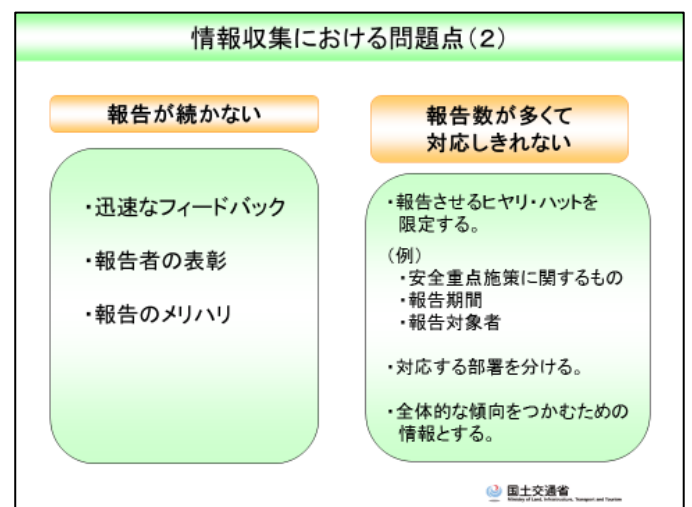
「**何がヒヤリ・ハットかわからない**」という場合もあります。この場合は、根気よく、この様なものがヒヤリ・ハットだと教育することが必要ですし、「**ヒヤリ」「ハット**」しないという者に対しては、危険感受性を高めるための訓練(危険予知トレーニングなど)を実施することも必要です。

その他の問題点としては、**報告が続かない**こともよく耳にします。せっかく報告してもらった情報については、必ず返事をしてあげることが大切です。何らかのフィードバックがないと、報告しても意味がないと思ってしまう者もいるものです。

また、提出された報告が基となり、事故防止の取組まで発展したら、報告者を表彰する制度を取り入れている会社も多々あります。

社員任せで「出してください」だけでは、他者に頼りがちになる場合もありますので、報告のメリハリを付けるのも一考です。例えば、「**報告期間の限定**」「**事故事例に関連する事象**」「**報告者の年齢制限**」等に絞れば、注意を引くことができ、報告に繋がることもあります。

逆に**報告数が多すぎて対応しきれない**場合もこのメリハリを活用することで、一定の制限が期待できますし、報告のあったヒヤリ・ハット情報全てに対して詳細な原因分析を行わず、単純集計後に、重要と判断された事象のみに対応することとすれば、担当者の負担が軽減されます。



この様式は、発生場所、自由記入欄以外はチェック形式にした「チェック型ヒヤリ・ハット報告用紙」となりますので、参考までにご紹介します。(自動車モード編)

この報告様式に、自社に合った項目の追加・削除、また、インシデント的な事象であった場合には、詳細の聞き取りや、ドライブレコーダー・タコグラフ等の活用により、さらに明確な原因・要因を突き止められる場合もありますので、自社に合った内容を検討しご活用ください。

ヒヤリ・ハット報告用紙

該当する口欄にチェック (レ) してください。

発生場所	(該当する場所を記入して下さい)			
相手方	車両	<input type="checkbox"/> 自動車	<input type="checkbox"/> 二輪車	<input type="checkbox"/> 自転車
		<input type="checkbox"/> その他 ()		
	人	<input type="checkbox"/> 老人	<input type="checkbox"/> 大人	<input type="checkbox"/> 学生
		<input type="checkbox"/> 子供	乗客・交通他者の別※ ¹ <input type="checkbox"/> 乗客 <input type="checkbox"/> 交通他者	
	構造物	<input type="checkbox"/> 建物	<input type="checkbox"/> 塀	<input type="checkbox"/> ガードレール
		<input type="checkbox"/> 樹木	<input type="checkbox"/> その他 ()	
道路形状	<input type="checkbox"/> 十字路 (交差点内)	<input type="checkbox"/> T字路 (交差点内)	<input type="checkbox"/> 交差点付近	
	<input type="checkbox"/> 直線	<input type="checkbox"/> 右カーブ	<input type="checkbox"/> 左カーブ	<input type="checkbox"/> その他
信号	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし		
路面状況	<input type="checkbox"/> 乾燥	<input type="checkbox"/> 濡れた	<input type="checkbox"/> 凍結	<input type="checkbox"/> 積雪
走行状態	<input type="checkbox"/> 走行時	<input type="checkbox"/> 発進時	<input type="checkbox"/> 右折時	<input type="checkbox"/> 左折時
	<input type="checkbox"/> 追越し時	<input type="checkbox"/> 追越され時	<input type="checkbox"/> すれ違い時	<input type="checkbox"/> 客扱い時
	<input type="checkbox"/> その他 ()			
原因	<input type="checkbox"/> とび出し	<input type="checkbox"/> 信号無視	<input type="checkbox"/> 一旦停止せず	<input type="checkbox"/> 確認不足
	<input type="checkbox"/> 急発進	<input type="checkbox"/> 急停車	<input type="checkbox"/> 急ハンドル	<input type="checkbox"/> むりな追越し
	<input type="checkbox"/> 割込み	<input type="checkbox"/> スピードの出し過ぎ		
	<input type="checkbox"/> 道路構造 () <input type="checkbox"/> その他 ()			
	原因はどちら側にあったか?			
	<input type="checkbox"/> 当方	<input type="checkbox"/> 相手	<input type="checkbox"/> 双方	<input type="checkbox"/> その他 ()
どんな事故が起きる可能性があったか	<input type="checkbox"/> 正面衝突	<input type="checkbox"/> 追突	<input type="checkbox"/> 接触	<input type="checkbox"/> 人の死傷
	<input type="checkbox"/> 車内人身事故※ ¹ <input type="checkbox"/> その他 ()			
乗客の有無※ ¹	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			
結果の重大性※ ²	<input type="checkbox"/> 大	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 小	
自由記入欄	(現場見取り図等)			
対応※ ³	<input type="checkbox"/> 営業所 <input type="checkbox"/> 本社			

※¹ 旅客運送の場合。なお、バスは、乗客の有無につき、人数毎ごとに区切って選択肢を作る (5人単位など) ことも考えられます。

※²、※³ ヒヤリ・ハット報告の内容を見て、運行管理者が評価をしてもよいでしょう。